

あんど や しき い せき い ぶつ じょうもん ど き かん けい
安堵屋敷遺跡で見つかった遺物は、縄文土器が完形
ど き ふくげん ど き ど ぐう
土器と復元土器を合わせて 551 点、土偶が 140 点、
ど せい ひん せつき
土製品が 503 点、石器が 449 点です。

縄文土器には日常生活で使用する普通の土器のほか
に、ミニチュア土器と呼ばれている手のひらサイズの
こ がた
小型の土器があります。これは、一般的な縄文土器と
同じ形で同じ文様を付けたものや、独特な形をもつもの
もどくとく
もあります。

安堵屋敷遺跡ではこのミニチュア土器が、178 点見
つかっており、その形の多くはつぼ がた はち がた
壺形土器、鉢形土器、
あさ ばち がた
浅鉢形土器を小型にしたものです。市内の同時期の遺
跡であるふ どう い せき
不動 I 遺跡（平成 28 年度調査）3 点、こ だ い
小田遺
跡（昭和 53 年度調査）36 点と比べると量が多いこと
が分かります。

ミニチュア土器はその大きさからみてじつ よう せい
実用性は低く、子
どものおも ちゃ
の玩具やマツリのために作られたさい し よう
祭祀用の土器だ
と考えられています。



一般的な縄文土器（左）とミニチュア土器（右）との大きさの違い